## ERINA 平成26年度第1回賛助会セミナー 1 新潟・モンゴル 食と花 トモンゴルへのコメ輸出 ・ 平成26年5月22日 ・ 株式会社 新潟クボタ ト 代表取締役社長 吉田 至夫

# (1) 自己紹介 1952年 新潟市秋葉区(旧新津市)出身 1972年 県立新潟高校卒業 1976年 早稲田大学政治経済学部卒業 同 年 日本経済新聞社入社 1983年 新潟クボタ入社 2002年 同社代表取締役社長就任 現在に至る

### 会社概況

本社所在地 新潟市中央区鳥屋野331番

主要拠点 サービス拠点:中央SC, 黒川SC,中越SC,上越SC

営業拠点:営業所27拠点

販売店160

創業 昭和39年2月16日

資本金 1億8000万円

従業員 約420名

売上高 170億円(平成25年)一 合算売上200億円

事業内容 クボタ農業機械・内燃機器・建設機械、肥料

農薬、家電製品、自動車の販売・修理、建築



©ERINA 2

3







### 本社所在地 モンゴルウランバートル、バヤンゴル区 5、平和通り、 株式会社 Technik Import社206号 精米工場・事務所 モンゴルウランバートル、バヤンゴル区GURVLJIN橋西側 取締役 代表Baatarbeel.Ch 非常勤取締役 D.Gantsetseg 河村裕介 創業 2013年5月20日、会計年度1月1日~12月31日 資本金 560,800,000トグログ(4千万円) Technik Import社 50% 新潟農商 50%

9

MJ Partners 会社概況

事業内容 食品の卸売・小売・外国貿易

売上予定 2014年 672,000,000トグログ(39,500,000円)

### すべては、新潟県モンゴル国中小都市の 中小企業等への技術協力事業から始まった

10

- ① 2009.4.6 株式会社エブリィの営業部長バータルベール チオイジン氏(後のMJ Partners 社長) 日園の片岡社長とともに、新潟クボタの新潟中央サービスセンターに中古トラクタの輸出相談で来社。
- ② 2011.3.11 東日本大震災
- ③ 2011.10.17 第4回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミットが、新潟において開催される。中山輝也代表幹事(在新潟モンゴル国名誉領事)が議長を務める。懇親会の席で、モンゴル農業大学への実習用中古トラクタの寄贈の打診を受ける。内諾する。

### 中古トラクタ、新潟東港に向け積出

11



©ERINA 5

1 1

### ガナ(D.Gantsetseg)社長の気迫と両社 長の信頼関係醸成により一気に進展

12

- ① 2012.5.24~30 新潟県モンゴル訪問団に参加、実習用トラクタの贈呈式を行う(但し、現品は未到着)。滞在中、Technik Import社のガナ社長、バータル氏と会談、会食。新潟米の輸出、現地精米、販売の可能性について意見交換し、お互いの信頼関係を醸成。
- ② 2012.7.25~29 技術協力事業の一環として、新潟クボタより部課長 クラスの技術専門員を派遣、実習用トラクタの操作、保守、分解組み立て等 を指導。また、Technik Import社と精米設備、設置場所候補地等の意見交換。
- ③ 2012年夏から晩冬、ガナ社長夫妻、バータル夫妻来日意見交換を重ねる
- ④ 2012.12.9~15 モンゴル国中小企業等来日団受入。ナショナル協会 バタスーリ副会長、エンフバヤルモンゴル国立農業大学学部長、チュルン バット同学科長ほか来社、会食

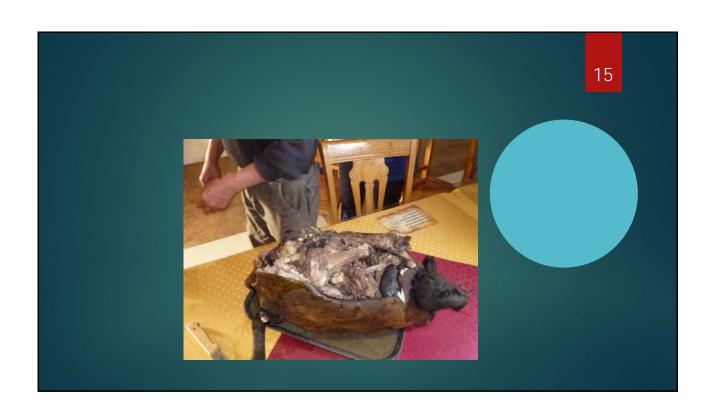
### 盛大に挙行された贈呈式

13

















### モンゴルでの合弁事業に向け、市場調査、法的実 務面の検討等指示

20

- ① 2012.11.5~11 新潟農商・伊藤社長初めてモンゴルを訪問。スーパー、日本食レストラン等市場調査
- ② 2013.3.4~9 伊藤社長、河村課長、西済君、国際婦人ディーにあわせ、 おにぎりの試食会等を実施。
- ③ 2013.4.21~23 伊藤社長、Technik社事前訪問、大使館等訪問挨拶
- ④ 2013.4.30~5.5 新潟クボタ早川専務管理本部長、税理士等を同行し 合弁契約の最終打ち合わせほか
- ⑤ 2013.5.19~23 吉田社長はじめ幹部合弁契約書調印のため訪問。5.20 調印式挙行。この日を創業日とする。
- ⑥ 2013.7.28~31 伊藤社長、精米工場上棟式のため訪問。TV東京取材同行。
- ⑦2013.7初旬から三ヶ月 マンダ(精米技術)氏,ゾロ(販売、事務処理)氏、新潟県研修生助成制度を活用し、新潟農商にて研修。

### モンゴルでの伊藤社長のおにぎり試食会 21









### 稲刈り直前の圃場で農家さんから直接 コメつくりの話を聞く



25

24

### いよいよ合弁事業のスタート

- ① 2013.8.1 モンゴルからの留学生バトスへ オユン氏採用。新潟大学大学院技術経営学科卒業。
- ② 2013.8.14 ガナ社長夫妻、バータル社長夫妻と吉田社長夫妻、香港で合流し、久保田米業香港の精米施設を見学、会食等を行う。
- ③ 2013.10.27~111 伊藤社長 開所式の準備の訪問、日本国大使館、 JICA、レストラン、スーパーなど関係者に事前挨拶
- ④ 2013.12.6~13 伊藤社長 Technik Import社創立55周年式典出席のため訪問し、開所式に合流。
- ⑤ 2013.12.9~13 吉田社長はじめ幹部、MJ Partners 開所式のため訪問。中山在新潟モンゴル国名誉領事にも出席していただく。NHK取材(おはよう日本ほか)同行。









### マンダさんも精米プラントを運転して 早速の活躍

30



### 大きな可能性を秘めたモンゴル経済交流 31

- ① 2014.1.26~31 伊藤社長、販売動向、経営状況等視察・指導のため訪問
- ② 2014.2.19 新潟クボタ創立50周年記念式典出席のため、ガナ社長夫妻、 バータル社長来社、全社員に挨拶いただく。中山社長には全社員大会で記念講演をしていただく。
- ③ 2014.3.11~16 伊藤社長、河村課長(MJPartners取締役) に引継ぎのため 訪問。
- ④ 2014.4.7~11 早川専務、河村課長(取締役),オユンモンゴルを訪問し、 現在の経営課題克服のための協議並びに実行具体策を立案。早急に、年間30 0トン体制の確立を急ぐ。



# (3) お米の輸出にかけるクボタの思い ▶長年お世話になった農業界への感謝の気持ち ▶輸出企業の経験を活かし、輸出の道を拓く ▶生産現場のコスト低減から、販路開拓まで











